

山岳遭難発生状況 (令和6年8月末現在)

48件51人(-10件-15人)・死傷者29人(死亡3人、負傷者26人)

秋山シーズンは遭難多発！

秋は、埼玉県内の山岳遭難が年間で最も多い季節です。

右の棒グラフは、過去5年の月別遭難発生件数となりますが、特に11月の遭難件数が多くなっています。

11月は、県内の紅葉が見頃になる時期であり、登山者が多くなり、遭難も増加するものと考えられます。

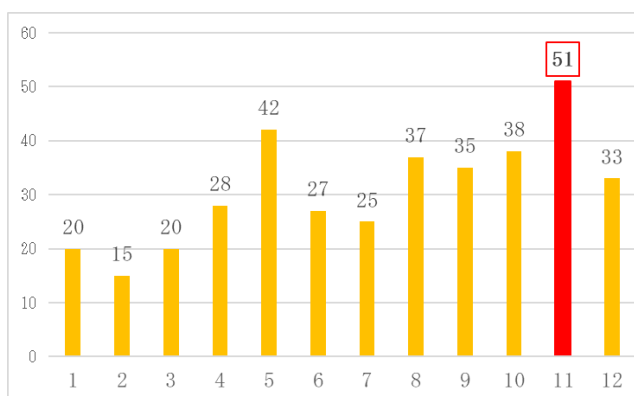
右の写真は、昨年、仙元尾根で発生した山岳遭難(道迷い)出動時のものです。

遭難者は、ヘッドライトを持っておらず、隊員のヘッドライトを借し、帯同下山をしました。

軽装での登山は大変危険です。

季節の変化で日の長さや気温が変化しますので、ヘッドライトや防寒着など装備の見直しをしましょう。

装備も登山計画もしっかり準備をして秋山登山を楽しんでください。



遭難者が隊員と帯同下山している状況

🍄キノコ採りでも山に入る時は、登山届の提出をお願いします！



https://www.mt-compass.com/howto.php
全国山域の登山届がひとつの窓口で提出できます。



クマの襲撃に遭わないために

基本的な考え方

「熊を近づけさせない」、「熊に近づかない」

☆「熊を近づけさせない」

熊鈴やラジオなどを有効活用する。

※熊鈴は、登山者の動きが少なくなると音が鳴りづらくなるので注意しましょう！



☆「熊に近付かない」

熊のフンや足跡、樹木への痕跡等がある場合、付近に熊がいる可能性が高いため、熊の姿が見えなくても、音を鳴らすなどして自身の存在を知らせるようにしましょう。

★ 豆知識

・「熊のフン」

大きさは、人間と同じくらい。

数日で自然分解されるが、分解されずに残っている場合は、最近まで熊がいた可能性が高い！

・「熊棚」

木の枝が鳥の巣状に積み重なったもの。

熊は木に登って果実などを食べる習性がありますが、枝先まで移動して食べることができないため、結実した枝をたぐり寄せて採食することで、木の枝が鳥の巣状に積みあがります。

△万が一、熊と遭遇してしまった時のために！

☆熊撃退スプレーの携行

使用に際しては、風向きや射程距離のほか、熊の目や鼻等の粘膜に命中させなければ十分な効果が得られないので注意しましょう。

また、登山道の下草が伸びているとスプレーの妨げとなる場合もあります。

